iBUFFALO

SRMB02 シリーズ
取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお守りください

危　険

絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。

- **電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。**
  - ・分解、改造、修理しない。
  - ・電極の(＋)と(－)を針金等の金属で接続しない。また、金属性のネックレスやヘアピン、カギ等と一緒に持ち運んだり、保管したりしない（接触し、ショートする危険性があります）。
  - ・火の中に投入したり、100℃以上の高温の場所や水の中に放置しない。
  - ・釘を刺したり、かなづちで叩いたり、踏みつけたりしない。

  以上のことを守らないと、液もれ・発熱、発火、破裂し、やけどやけがをする恐れがあります。
- **電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
  電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

警　告

絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- **電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。**
  - ・電極の(＋)と(－)を間違えて挿入しない。
  - ・消耗しきった電池を入れたままにしない。使用済みの電池は、地方自治体の条例に従って正しく処分する。
  - ・長期間使用しないときは、電池を取り外し、常温の乾燥した場所に保管する。

  以上のことを守らないと、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- **電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。**
  指定以外の電池を使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂等が起こり、やけどやケガをする恐れがあります。
- **電池内部の液がもれたときは、液に触れない。**
  やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

注　意

この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- **本製品を次の場所に設置しないでください。感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を与える場合があります。**
  強い磁界、静電気、震動が発生するところ、平らでないところ、直射日光があたるところ、火気の周辺または熱気のこもるところ、漏電、漏水の危険があるところ、油煙、湯気、湿気やホコリの多いところ。
- **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
- **本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。**
- **本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。**
- **異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、弊社テクニカルサポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。**

マウスご使用時の注意

- センサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。
- ボタンが常に押されている状態や、マウス本体が常に動かされているような状態が長く続くと、電池の消耗が早くなりますので注意してください。
- カバン、袋などに入れて持ち歩くときは、電源をOFFにしてください。

BlueLED光学式マウスご使用時の注意

BlueLED光学式センサーは、非常に高い感度を持っておりますが、性質上光沢のある反射性の高い面や、青色系統、色柄の激しい面の上では、認識率が低下したり読み取れない場合がありますのでご注意ください。
また、お客様のご使用環境により、レンズ部にホコリがたまり、センサーの感度を下げる場合があります。
その場合は、エアーダスター等でホコリを取り除いてください。

電波に関する注意

- **本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。**
- **次の場所では、本製品を使用しないでください。**
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- **本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。**
  - ・本製品を分解／改造すること
  - ・本製品の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと
- **本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**
  - ・産業・科学・医療用機器
  - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ① 構内無線局（免許を要する無線局）
    ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- **本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**
  1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
  3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	GFSK方式
想定干渉距離	10 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可

付属品がすべて揃っていることを確認します

お使いになる前に梱包内容、製品各部の名称や対応OS、製品仕様をパッケージでご確認ください。もし不足しているものがあれば、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●マウス（本体）　1台

●レシーバー　1台

●アルカリ単4乾電池　2本
※動作確認用

●取扱説明書（本書）　1 枚

メモ　付属の電池は動作確認用のため、出荷時期等により電池が消耗している場合がございます。お早目にお客様で新品の電池を用意し、付属の電池と交換してください。

Simpring製品について

本製品はSimpring技術を採用していますので、本製品に付属のレシーバーで最大5つのデバイスが接続可能です。

＜Simpring接続方法＞

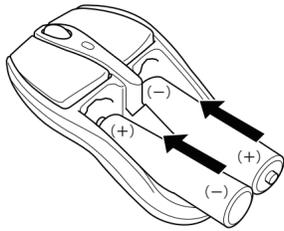
① レシーバーをパソコン等に接続します。
② 接続したレシーバーと追加で接続するデバイス（キーボード、マウス等）を15cm程度に近づけ、接続するデバイスの[CONNECTボタン]を2回押します。

以上でSimpring接続の完了です。
同様の手順で、最大5つのデバイスが接続可能です。6つ目以降を接続した場合は、使用頻度の低いデバイスが接続から外れます。

※ 上記の接続方法は、Simpring製品のみ対応です。接続をする際は、必ずSimpring製品を使用してください。

本製品の使用方法

1. マウス本体裏面のロック解除スイッチ（PUSH）を押します。
2. マウス本体のカバーが開きますので、単4乾電池を矢印の方向に挿入します。
   ※＋と－を絶対に間違えないでください。

3. 電池ボックスカバーを取り付け、レシーバーをパソコン等のUSBポートに接続します。
4. 本体裏面の電源スイッチをONにします
5. 以上で本製品がご使用いただけます。
6. **スリープモードに関して**
   本製品は約2分でスリープモードになります。復帰させるには、本製品のボタンをクリックしてください。

メモ
本製品は出荷時の状態でマウスとレシーバーのコネクトが完了していますので、コネクト作業は不要です。
ただし、無線LAN等の影響によりマウスが動かない場合は、コネクト作業を行ってください。

＜コネクト方法＞
電源をONにしたマウスとパソコン等のUSBポートに接続したレシーバーを15cm程度に近づけ、マウス本体裏面の[CONNECTボタン]を2回押してください。
マウスポインタが正常に動けば、コネクト作業は完了です。

裏面につづく

マウス本体にレシーバーを収納できます

電池ボックスカバー裏面のフック（引っかける部分）に、上からレシーバー（電極面を上にして）を挿入し、固定してください。

電池残量LEDの表示について

バッテリーインジケーターが点滅するときは、電池残量が不足しています。電池の交換をお願いします。

電波到達距離について

- 非磁性体（木の机など）⇒ 約10m
- 磁性体（鉄製の机など）⇒ 約3m

※ 弊社テスト値につき、保証値ではありません。

製品仕様

インターフェース	USB
センサー方式	BlueLED光学式
電波周波数	2.4GHｚ
分解能	1000dpi
対応機器	Windowsパソコン、Macシリーズ、PlayStation®3
マウス寸法	約W40×D75×H29mm
マウス重量	約25g（電池含まず）
レシーバー寸法	約W14.5×D19.2×H5mm
レシーバー重量	約1g
動作環境	温度 5℃～40℃、湿度 5%～90%（結露なきこと）
製品構成	マウス、レシーバー、単4乾電池2本、取扱説明書

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、当社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

PC **86886.jp**（ハローバッファロー）（http://www不要）　86886.jp 検索

● **インターネット（Eメール）**　※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様　PC **86886.jp/mail/**（http://www 不要）
法人のお客様　PC **86886.jp/hojin/**（http://www 不要）

● **電話：**　お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の当社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4,トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は当社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口 **050－3163－1825**
9:30～19:00（日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

法人のお客様窓口 **050－3163－2000**
9:30～12:00　13:00～17:00（土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を当社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

PC **86886.jp/shuri/**（http://www不要）
携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第 1 条（定義）
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体機能を示す部分をいい、付属品（マニュアル、パッケージなど）および消耗品などは含まれません。

第 2 条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアル No. 等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアル No. 等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が 、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第 3 条（修理）
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージ、ならびに弊社 WEB サイトをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第 4 条（免責事項）
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第 5 条（有効範囲）
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外、産業用途、組込、ならびに指定箇所以外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

● 保証書とともに購入日が証明できるものを保管して下さい。保証（ 修理 ）の際に必要となります。
● 掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
● デザイン、仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。
● BUFFALO ™、iBUFFALO ™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。

株式会社 バッファロー

ホームページ URL	buffalo.jp
iBUFFALO 製品 URL	buffalo.jp/supply/

SRMB02シリーズ　取扱説明書

初版発行
2012/2/6
KM00-0291-00